

ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

09

2025.01



手術の安全をつなぐ

日々様々な手術が行われている済生会新潟県中央基幹病院。手術部では、侵襲を伴う治療である手術を安全かつ迅速に行っていくため、様々な取り組みを行い、毎日の手術運営を管理しています。今回はそんな手術部の中核を担う4名の方々に、お話を伺いました。

手術部の役割と運営について、
また、それぞれの業務の連携について
教えてください。

【二瓶】まず手術部とは、手術に関わる人たちが集まる部会です。当院では整形外科、外傷再建外科、脳外科、外科、歯科口腔外科、形成外科、眼科、産婦人科の代表する医師、さらに手術室の中で働く麻酔科の医師、看護師、臨床工学技士がメンバーです。運営についてですが、例えば、外科に1枠あると、手術時間が30分の手術なら1日で4〜5件の手術申込ができますが、7時間の手術なら1件のみの申込となります。手術室全体としての枠※は大体決まっているのですが、その枠にどの科の手術を割り振るかを決めたり、手術を行う科と麻酔科との間で何か齟齬があった場合の調整など、手術に関わることをその都度決める、あるいは変えていくということをしています。

※その科がその日の時間内に専有できる手術室の数のこと

【楠田】手術のスケジュールを決める会は毎週行っていますし、月1回、手術部運営委員会というのも行っています。

【川瀬】先生方とは毎日時間調整などいろいろなやりとりをしています。緊急手術が多いので、診療科から様々な要望を突然お願いされることがあります。なんとかやりくりしていますが、対応が難しいという声が看護師たちから上がってきたら、手術部部長や診療科の先生に相談しています。個々で解決できない場合は委員会でも協議してもらいます。

【谷藤】整形外科や外傷再建外科は、予定していない緊急の手術がとても多いので、そういった場面では、どうしても連絡の行き違いが起きやすい状況になります。そういうときに当番の看護スタッフ、麻酔科の先生に個々に連絡をとって、その日に手術ができるかなどの調整を密に行うようにしています。

麻酔科はどのような役割、
業務を行っているのでしょうか。

【楠田】麻酔科医の役割は、患者さんが痛みを感じずに場合によっては眠っている間に安全に手術を受け終わるように、患者さんの状態だけではなく、手術室全体を整えることです。外科系の先生方が手術をしやすい環境を作ること、患者さんの負担を減らすことがメインの仕事になります。目覚めている患者さんとのやり取りは、主治医の先生方と比べるとほんの一瞬なので、麻酔科医の存在を患者さんが覚えていないことはほとんどありません。目立ちほしくないけれど、存在しないと困る電気や上下水道のようなインフラ部門だと思っています。当院麻酔科は常勤医師が6名と県内の病院としては非常に多く、全員が専門医または指導医でいろいろな得意分野を持つ医師が集まっているチームです。外部から応援に来てくださる先生方と一緒に複数の緊急手術にも迅速に対応できるような人員配置を心がけています。



副病院長・人材育成開発部門 副部門長
二瓶 幸栄



手術部 副部長・麻酔科 主任診療科長
楠田 理絵



手術部 部長・整形外科 主任診療科長
谷藤 理



手術 看護課長
川瀬 優子



医療安全への取り組みについて、教えてください。

【川瀬】手術室用の医療安全対策マニュアルを、1冊のファイルにしています。このマニュアルに基づいて行動すれば事故が起きないようにしているので、何か分らないことがあれば、このファイルを確認して手術に臨むようにしています。それでもインシデントが起きた場合は、その都度内容を修正しています。私が看護師たちに常に伝えているのは、マニュアルにもとづいて手術介助にあたってほしいということです。誰かがルールを守らずに万が一事故が起きた場合、一番に影響を受けるのは患者さんです。先生方にも迷惑をかけてしまうので、それだけは避けたい。手術室はいろいろな人が関わる部署なので、看護師はたくさんさんの連絡をしないといけないのですが、地道に連絡し合うことが安全な手術を提供することに繋がると考えています。

【谷藤】整形外科の手術では患者さんの手術部位間違いがないように確認することが重要です。四肢の左右を間違えないように手術前、手術室でもチェックを行います。医師としては当然、手術を安全に行うための知識をつけることも大切です。術前のコミュニケーションをしっかりして手術に挑むようにしております。また、当科の場合は手術中はもちろん手術前から感染管理には特に気を使っています。

【楠田】術後の患者さんはすぐにリカバリールームへ移送し、病棟に戻った後に痛みがひどいという安全な状態であることを確認するため、観察時間を設けてます。その間に使用済みとなった手術室を床も含めて全て清掃します。これも感染管理の一環です。リカバリールームを有効活用することで、次の患者さんを速やかにお呼びすることができるので、安全面と効率的な手術室運営を両立できます。

【二瓶】手術中の安全に関しては当然なのですが、手術前の段階で医師が見落としている事柄もあります。例えば必要な検査やリスクに関することなど、見落とししている部分を麻酔科外来が発見し、我々にフィードバックが来て対応するなど、患者さんが安全に手術を受けられる体制を整えています。

麻酔科で特に気を付けていることは何でしょうか。

【楠田】患者さんを危険な状態に陥らせないために入念な事前準備を行います。それが麻酔科医の考える医療安全の根っこだと思います。麻酔科の患者さんへの関わりは手術当日に始まるのでなく、まず麻酔科外来の前日まで、患者さんのリスクになり得るようなものをカルテ情報から全てピックアップし、手術の種類や予定時間、侵襲度なども勘案した上で、個々の患者さんに最適であろう麻酔方法を計画します。患者さんにお会いした際には予定している麻酔法やリスクなどのお話をして質問にもお答えします。手術当日には起こりうるあらゆる状態を想定し、どの状況にも対応できるように薬剤や器具を患者さんが手術室に入られるまでに全て準備することを全ての麻酔科管理症例に対して行っています。手術を行う科と麻酔科とのやりとりだけでは方針決定への情報が少ない場合は、他の科の先生方にも相談をします。例えば、心臓が悪い患者さんについては循環器内科の先生に術後の併診を打診したり、パーキンソン病の患者さんについて、手術前に休薬すると患者さんの状態はどうなるかの予想を脳神経内科の先生に聞くなど、それぞれ専門の先生にご助言をいただくようにしています。

手術部として
今後力を入れていきたいことはありますか。

【谷藤】手術室で使用する物品については、前病院から引き継いだものから、新たに購入したものまで非常に多くあるため、全スタッフがまだ把握しきれていないのが現状です。今後は物品管理をしっかり行う必要があると思いますし、コストという観点からも経営に直結する非常に重要なことかと思っています。また、物品の洗浄・滅菌待ちで手術の開始時間が遅くなるときもあるので、各部署との連携を大事にしながら、さらに効率よく手術室を運営できる方法を見つけていければと思っています。

【手術部運営委員会】

月に一度、委員会を開いています。委員会は手術に関連する問題点を各部署で持ち寄り、討議し、共通認識を持つための場です。



【特定行為研修】

麻酔導入時の動脈圧ライン確保などの特定行為や、術中の呼吸循環管理法など学んでもらい、麻酔と一緒に進めていくチームメンバーを養成しています。



特定行為管理委員会



特定行為研修

手術室の工夫

手術室の使用スケジュールは、効率的かつ柔軟に対応できるように設定しています。とくに出産に関しては、手術決定から30分以内の児娩出を目指しているため、超緊急の帝王切開に対応できるよう、手術室1部屋を空けるようにしています。

緊急手術となれば、誰も不安。特に帝王切開は胎盤を通じて、赤ちゃんに薬が投与されることを避けるために区域麻酔を選択するケースが多く、妊婦さんは手術中も眠りません。手術室は青や緑などの寒色系が多く、冷たい印象を与えてしまうので、少しでも恐怖心を和らげるため、ピンク色の手術室があります。



〈手術室数〉

8室

〈手術件数〉

1,819件

(4～9月、局所麻酔含む)
うち970件が麻酔科管理症例、
そのうち186件が緊急手術

手術部とは

手術部とは、手術に関連する多職種がそれぞれの専門性を発揮して、医療を提供する部門です。



麻酔科とは

個々の患者さんに対する麻酔管理はもちろん、効率的な手術室の運用のために、どの部屋のどの手術の後に、次の各患者・各手術・各術者を割り振るかなどの手術室滞在時間を考慮して、刻々と変化する手術室全体の状況を俯瞰し運用していく組織です。





放射線部

西森 隼太 NISHIMORI HAYATA

●この仕事のやりがいや特徴を教えてください。

検査を行う上で、人体の解剖や機器に関する正しい知識を持つて撮影することが重要だと日々実感しています。検査目的を理解し、画像検査を通していかに疾患を分かりやすく描出するかを考え



●この仕事を選ばれたきっかけ、経緯を教えてください。

もともと医療関係の仕事に興味があり、高校生の時にさまざまな職業を調べていく中で知ったのがきっかけです。詳しく調べると、CTやMRIなどの画像検査やがんに対する放射線治療を業務とする職業であることがわかり、放射線技師を目指すようになりました。

●ご職種の普段の業務について、具体的に教えてください。

放射線技師は、主に放射線を用いた診断と治療に関わる仕事です。具体的には、エックス線一般撮影、CT、MRIなどの画像診断機器を操作し、肉眼では見えない体内の臓器や器官を画像化します。検査前には患者さんの状態を確認し、適切な検査方法を選定し、必要な説明を行います。また、放射線の安全管理のため、患者さんや医療スタッフの被ばくを最小限に抑えるための対策を講じます。さらに、得られた画像を医師に提供し診断や治療計画に貢献します。

●将来の目指す姿や目標はありますか？

多くの症例を学びさまざまな機器を経験することで、自分の知識を深めながら撮影技術を磨いていき、少しでも早く先輩方の力になれるように頑張りたいです。先輩方に教えていただきながら、自分が行える業務の範囲が広がっていき、いいなと思います。

FAVORITE!

「西森さんのお気に入り」

学生の頃からお笑い芸人のラジオを聴くことが好きで、今でもよく聴いています。

済生会新潟県央基幹病院の各部門について、その役割や日々の業務をご紹介します。

薬剤部



【安全・安心な薬物治療を提供】

薬剤部では患者さんが使用する薬の調剤や在庫管理、薬の正しい飲み方の指導などを行っています。また、医師が処方した薬の内容を確認し、少しでも疑問点があれば問い合わせてすることで、患者さん一人ひとりに安全な薬物治療を提供できるよう努めています。

さらに、医師・看護師等からの薬の疑問に対する薬品情報（Drug Information）業務や抗がん剤の調製などの業務にも取り組んでいます。

【適切な服用で正しい効果を】

薬は決められた飲み方・使い方をきちんと守りましょう。いつ飲んでも同じだと考える方もいると思いますが、要注意です。それは適切なタイミングで服用しないと期待する効果が現れない薬があるからです。例えば血糖値を下げる薬の一部は、食事の直前に服用しなければなりません。これは食事からの糖分の吸収をさせにくくするためです。「クスリはリスク」と言われるように、薬は正しく使用しないと期待する効果が現れないばかりか、思わぬリスクに遭遇することもあります。心当たりのある方もない方も、今一度、薬の飲み方、使い方を見直してみましょう。

〈地域に向けてメッセージ〉

インターネットなどが普及し、薬について簡単に調べることができるようになりました。しかし得られる情報すべてが必ずしも正しい情報ばかりではありません。正しい知識を身に着けるためにも、不安なこと・疑問などがあれば医師や薬剤師に相談してください。



今知りたい

Q & A

薬剤部 Q & A

Q 食間は食事中に飲めばいいですか？

A 食間とは、食事と食事の間のことであって、食事中に飲むお薬ではありません。食事の2時間後を目安にお飲みください。

Q 処方された薬を服用して具合が悪くなった、どうすればいいですか？

A 当院もしくはお薬が交付された調剤薬局へご連絡ください。自己判断で中断するとかえって症状が悪化する場合もありますので、早めにご相談ください。

登録医のご紹介



つばた
津端内科医院（三条市）
〈院長〉津端 俊介 様



●まず、御クリニックについて教えてください。

当院は父の津端聖美が昭和61年に開業、私は令和4年5月に継承しました。専門は消化器内科です。県立中央病院、県立新発田病院、立川綜合病院など、上中下越の地域の中核病院で研鑽を積んできました。先代が行っていた上部消化管内視鏡や腹部超音波に加えて大腸内視鏡を導入し、大腸ポリープ治療も行っています。

●日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？

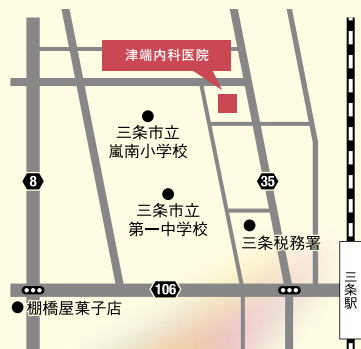
問診・聴診を大切に考えています。さらに症状の背景にある悩みや辛さをお伺いするべく、スタッフが積極的に傾聴に取り組んでくれています。必要と思う検査は、上部内視鏡を含めてその日に行うよう心がけています。これは先代からの伝統です。先進技術も積極的に取り入れており、胸部X線や大腸内視鏡、頸部超音波の診断にAIを導入しています。

●日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？

突然の腹痛、持続する腹痛、胃もたれ、嘔気嘔吐、下痢症状、便秘症状、血便など、お腹の症状を訴える方が多いです。季節の変わり目や気圧変化、あるいは日常のストレスなどにより体調を崩し、それが症状になつて現れている方が一定の割合でいらっしゃる印象です。そういう方は、お話を伺いして最低限のおくすりを使うだけでも症状が穏やかになることがあります。もちろん、実際に病気が見つかることも多くありますので、体調に不安を感じたら何でもご相談いただければと思います。

●地域にとつてどんなクリニックを目指していますか？

スタッフと協働して患者さんの訴えに耳を傾け、症状はもちろん、その背景にあるものを少しでも感じ取るように心がけています。また地域の方々にAIなどの先進技術をご提供します。日常の医療を通じて、当院に関わるすべての方々（スタッフや業者の方々も含めて）に笑顔をご提供できるように励みます。県立基幹病院様には、緊急を要する患者さんへの対応や画像診断の連携などで大変お世話になっております。県立基幹病院様が「断らない病院」を掲げる意味を理解し、当院も一次医療の一端として幅広い患者さんに対応し、地域医療に貢献していきたいと考えています。



津端内科医院【消化器内科、内科】

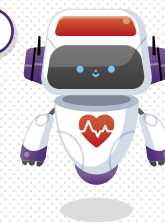
〒955-0862 新潟県三条市南新保1-16
診療時間／午前9:00～12:15 午後14:30～17:45
TEL／0256-33-0151
アクセス／JR三条駅から徒歩6分
休診日／水曜、土曜の午後・日曜・祝日
HP／<https://tsutsumi-naika.jp/>



	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:15	●	●	●	●	●	●	
午後	14:30～17:45	●	●		●	●		

ケン オー
KEN-O くん

院内ウォーキング 〈HOSPITAL WALKING〉



ケン オー
KEN-O くん

済生会新潟県中央基幹病院の新米ロボット。県央地域のみなさんが健康で楽しく暮らしていくためのお手伝いをするべく、日々勉強中。このコーナーでは、KEN-Oくんが院内をまわり、院内設備の紹介や各受付への行き方などを紹介しています。

外来 再診受診の流れ



① 予約のある方は診察券を機械に通してください。
【再来機】
1階2台、2階2台

② 診察ブロック受付へ、または診察前検査がある方は直接検査室へお越しください。

③ 各診療科の掲示板に受付番号が表示されます。



④ 診察が終わった方は、総合受付4番へお越しください。

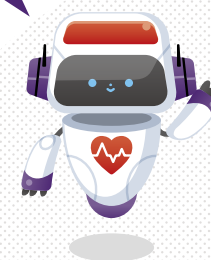


⑤ 基本的に精算機でのお支払いをお願いしております。診察券をお忘れの方は、総合受付6番でお支払いいただきます。

【精算機】1階1台（クレジット専用）、2階3台（クレジット、現金）

【患者案内モバイルシステム】

1階、2階、3階に設置
患者案内モバイルシステムに診察券を通すことで診察順を確認することができます。
外出される方にはメールアドレス登録が便利！



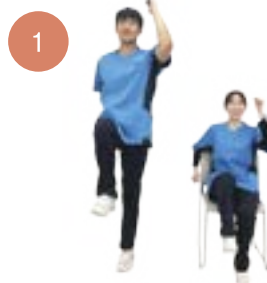
リハビリスタッフが教える

コグニサイズ

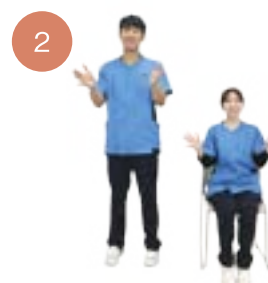
※国立長寿医療研究センターが開発

コグニサイズ（認知予防運動）※とは認知（cognition）と運動（exercise）を組み合わせたエクササイズで、運動で体を動かしながら、脳を活性化させる課題を併せることで認知機能低下を予防することが期待できます。多くの種類が考案されていますが、今日はその1つをご紹介します。それでは～レッツ！コグニサイズ♪

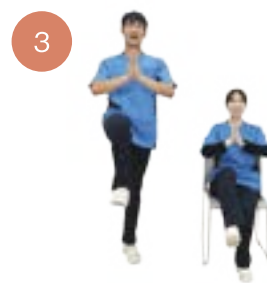
まずは足踏みをしながら大きな声で1から30まで数えます！



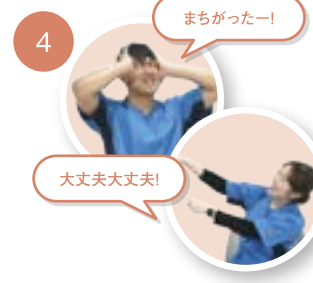
次は1から30まで数えながら3の倍数で手をたたきます！



足踏みしながら30まで数えて、さらに3の倍数で手をたたきます！



間違ってもイイんです！元気に笑顔で続けましょう♪



POINT

手拍子する倍数を変える、速度を上げるなど難易度を変えて工夫しましょう！



コグニサイズの詳細はこちらからご覧いただけます。▲

01 REPORT

第1回「けんおう地域医療フォーラム」を開催いたしました



11月20日、当院では地域の医療支援病院として、近隣の医療機関や介護施設、消防機関、薬局の皆様を対象に、第1回「けんおう地域医療フォーラム」を開催いたしました。本フォーラムは医療機関同士の連携強化や、中央地域医療のさらなる発展を目的としています。

当日は、臨床研修医の渋谷先生による症例紹介に続き、遠藤病院長が当院の診療実績や医療体制、教育、研修環境、さらには地域における当院の役割について講演を行いました。

会場には近隣の医療機関の先生方にもご参加いただき、活発な意見交換が行われました。また、WEB配信を通じて多数のオンライン視聴もあり、多くの皆様にフォーラムの内容を共有することができました。

当院では、今後も「けんおう地域医療フォーラム」を継続的に開催し、地域の医療機関や関係者の皆様との連携を一層深めてまいります。次回からは来月15日に予定しております。県中央地域医療のさらなる発展のため、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

02 NEWS

併設保育園「なでしこばかばか保育園」取材しました



10月24日、県中央基幹病院から徒歩1分のところにある併設保育園「なでしこばかばか保育園」の坂口園長に、開園から半年がたった保育園の様子をインタビューしてきました。徐々に利用者が増え、現在は園児23人が通園しています。

園内は、全館バリアフリーになっていて、廊下が吹き抜けになっているので開放感を感じました。床や壁などが木で造られていて、ぬくもりを感じる所は園長のお気に入りの所です。園児たちの出来ること

詳しいインタビュー記事はこちらをご覧ください。



が少しずつ増え、保育士たちは日々成長を感じながら保育をしているそうです。新しい保育園ということもあり、入園に不安がある方は、見学もできますので、保育園にご連絡くださいとお話していました。



済生会の「無料低額診療事業」のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において経済的な事情がございましたら、お気軽に患者サポートセンター(2階)窓口にお声掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

【お問合せ】患者サポートセンター

TEL.0256-47-4700 (代表)

QUESTION

VOICE Q&A

ご利用者の皆さんからいただいたご意見・ご質問にお答えします。

Q 1 傘立てを用意してほしい

正面玄関の風除室に傘立てを設置いたしました。また、突然の雨でお困りの方のために「思いやり傘」の貸し出しも開始いたしました。駐車場までの移動時にお役立てください。ご利用方法は以下の通りです。

「ご利用方法」

- 1 正面玄関インフォメーションにお声がけください。思いやり傘をお貸しいたします。(受付時間／8:30～16:00)
- 2 ご返却は正面玄関ロータリーまでお車で越えいただき、正面玄関インフォメーションに思いやり傘をご返却ください。



風除室の傘立て



思いやり傘



1階インフォメーションでご案内

Q 2 どこに意見の回答を掲示していますか？

設置場所は正面玄関右側(安田瓦)の1階掲示板と2階総合受付横の2か所になります。病院ご利用者さんからいただいたご意見に対する回答を掲示しておりますので、どうぞご覧ください。



1階／正面玄関右側



2階／総合受付横



済生会新潟県中央基幹病院はご利用者の皆さんの声に対応しております。

済生会新潟県中央基幹病院では、いただいたご意見をもとに、皆様により快くご利用いただける病院を目指し、日々改善を続けて参ります。お気づきの点がございましたら、1階エスカレーター前・2階待合ロビー脇に設置されておりますご意見箱に、皆さんの声をご投函ください。よろしくお願いいたします。



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

ANSWER

〈今月号の表紙の写真について〉

全身麻酔とは、鎮痛・意識消失・不動化・有害反射が抑制された状態で生命維持を行うことです。そのために患者さんに投与する薬剤は0.1cc単位で調整していきます。

麻酔科医による麻酔導入・術中維持・覚醒は、航空機パイロットによる離陸・安定した飛行・着陸に例えられることもあります。



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1

TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記QRより
アクセスしてください

